

# アンドリス・ネルソンス 指揮 ボストン交響楽団

ANDRIS NELSONS Conducts  
BOSTON SYMPHONY ORCHESTRA

俊英ネルソンスがボストン響の新たな時代を切り開く

© Marco Borggreve

ギル・シャハム  
ヴァイオリン

© Luke Ratry

2017年  
11月5日(日) 15:00 開演  
(14:20開場)

チャイコフスキー：  
ヴァイオリン協奏曲

ヴァイオリン：ギル・シャハム

マーラー：  
交響曲第1番「巨人」

Pyotr Il'yich Tchaikovsky:  
Concerto for Violin and Orchestra in D major,  
Op. 35 (Gil Shaham, violin)

Gustav Mahler:  
Symphony No. 1 in D major "Titan"

ミュゼザ川崎シンフォニーホール

「ミュゼザ友の会」先行発売 4月17日(月) 10:00～  
一般発売 4月30日(日) 10:00～

11月7日(火) 19:00 開演  
(18:20開場)

チャイコフスキー：  
ヴァイオリン協奏曲

ヴァイオリン：ギル・シャハム

ショスタコーヴィチ：  
交響曲第11番  
「1905年」

Pyotr Il'yich Tchaikovsky:  
Concerto for Violin and Orchestra  
in D major, Op. 35 (Gil Shaham, violin)

Dmitry Shostakovich:  
Symphony No. 11 in G minor,  
Op. 103 "The Year 1905"

11月8日(水) 19:00 開演  
(18:20開場)

モーツァルト：  
フルートとハープ  
のための協奏曲

フルート：エリザベス・ロウ  
ハーブ：ジェシカ・ジョウ

ラフマニノフ：  
交響曲第2番

Wolfgang Amadeus Mozart:  
Concerto for Flute, Harp and Orchestra  
in C major, K299 (297c)

(Elizabeth Rowe, flute Jessica Zhou, harp)

Sergey Rakhmaninov: Symphony No. 2 in E minor, Op. 27

11月9日(木) 19:00 開演  
(18:20開場)

ハイドン：  
交響曲第103番  
「太鼓連打」

マーラー：  
交響曲第1番「巨人」

Joseph Haydn:  
Symphony No. 103 in E-flat major,  
Hob. I-103 "Drumroll"

Gustav Mahler:  
Symphony No. 1 in D major "Titan"

サントリーホール 大ホール

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 4月23日(日) 10:00～4月29日(土) 一般発売 4月30日(日) 10:00～

チケット料金 (税込み) S:32,000円 A:27,000円 B:22,000円 C:17,000円 D:12,000円

# 音楽監督との日本公演は1999年小澤征爾氏との来日以来18年ぶり! ネルソンスとのコンビネーションで、グラミー賞2年連続受賞!!



指揮：アンドリス・ネルソンス  
Andris Nelsons, conductor

1978年ラトビア・リガ生まれ。ラトビア国立歌劇場のトランペット奏者としてキャリアをスタートさせ、北西ドイツ・フィル首席指揮者、ラトビア国立歌劇場首席指揮者、パーミンガム市交響楽団音楽監督を経て、2014年にボストン交響楽団第15代音楽監督に就任。翌15年にはボストン響との契約が2021-22年

© Marco Borggreve

シーズンまで延長される。2017-18年シーズンにはライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のカベルマイスター(楽長)に就任。ベルリン・フィルやウィーン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管など、欧州の主要オケにもたびたび客演している。

ボストン響とは15年に欧州の主要首都8都市で計12公演を行い、ルツェルン、ザルツブルク、グラフェネックの音楽祭に参加。16年には2度目の欧州公演を行い、ドイツ、オーストリア、ルクセンブルクの全8都市を廻った。また2014-15年シーズンから、シオスタコヴィチの全交響曲ライブ演奏収録を行っており、第1弾では「ムツェンスク郡のマクベス夫人」からパッサカリアおよび交響曲第10番を収録。第2弾は交響曲第5、8、9番および劇付随音楽「ハムレット」を収録し、それぞれ2016、17年のグラミー賞(最優秀オーケストラ演奏賞)を受賞した。



© Marco Borggreve

## ボストン交響楽団 Boston Symphony Orchestra

ボストン交響楽団の初公演は1881年にさかのぼり、今年で136年目のシーズンを迎える。本拠地ボストンでの公演のほか、世界で最も重要な音楽祭の一つとして挙げられる夏のタンゲルウッド音楽祭、同楽団の首席奏者で構成されるボストン交響楽団室内楽アンサンブルや、ボストン・ポップス・オーケストラは世界的に知られている。また、「エデュケーション・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム」を通じて、ボストンとタンゲルウッドでの教育プログラムや、ボストンの街全体を巻き込んだ教育・社会支援活動も積極的に行っている。その他にもインターネットやヴァーチャルメディアなどの手段を幅広く活用し、変化の激しい現代社会を常に意識している。音楽監督は初代のヘンシェルから、ゲーリケ、ニキシュ、クーセヴィツキー、ミュンシュ、スタインバークらへと引き継がれ1973年には小澤征爾が13代目音楽監督に就任。小澤は桂冠音楽監督に任命される2002年まで29年間務め、2004~11年はレヴァインがアメリカ人として初めて音楽監督を務めた。2014年シーズンからは国際的に活躍する若手ラトビア人指揮者アンドリス・ネルソンスが音楽監督に就任、同楽団の新たな時代の幕開けとなった。

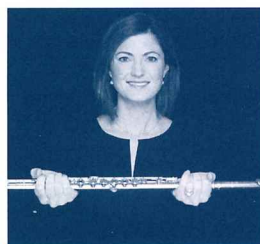


ヴァイオリン：ギル・シャハム  
Gil Shaham, violin

1971年生まれのギル・シャハムは、現代で最も傑出したヴァイオリニストの一人である。非の打ち所がない完璧なテクニックと、独特の温かみと高潔さが合わさって、アメリカにおける巨匠としての名声をほしいまにしている。81年エルサレム響およびイスラエル・フィルとの公演でデビュー。2008年にエイヴリー・フィッシャー賞を受賞。12年にはミュージカル・アメリカから年間最優秀器楽奏者に選出され、その演奏は「特別なヒューマニズム」を奏でる、と評された。グラミー賞受賞者でもあり、ベルリン・フィルやパリ管をはじめ世界中の名だたるオーケストラや指揮者と共演している。使用楽器は1699年製ストラディバリウス「ポリニャック伯爵夫人」。

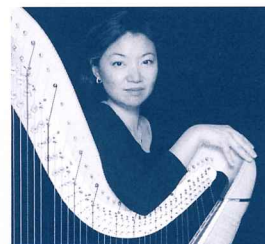
© Luke Ratry

匠としての名声をほしいまにしている。81年エルサレム響およびイスラエル・フィルとの公演でデビュー。2008年にエイヴリー・フィッシャー賞を受賞。12年にはミュージカル・アメリカから年間最優秀器楽奏者に選出され、その演奏は「特別なヒューマニズム」を奏でる、と評された。グラミー賞受賞者でもあり、ベルリン・フィルやパリ管をはじめ世界中の名だたるオーケストラや指揮者と共演している。使用楽器は1699年製ストラディバリウス「ポリニャック伯爵夫人」。



フルート：エリザベス・ロウ (首席奏者)  
Elizabeth Rowe, flute (principal)

2004年入団。ボストン交響楽団室内楽アンサンブルのメンバーとして「20世紀フランス室内楽作品集」の録音に参加しグラミー賞にノミネート。ソリストとしてもボストン響と共演多数。卓越した指導者としても知られ、指導を受けるために全米から生徒が集う。現在ニューイングランド音楽院およびタンゲルウッド・ミュージック・センターで教鞭をとる。



ハープ：ジェシカ・ジョウ (首席奏者)  
Jessica Zhou, harp (principal)

2009年入団。アメリカやフランスなどの国際的な主要コンクールに入賞。ニューヨーク・シティ・オペラの首席ハープ奏者を5シーズン務め、その他にもスイス・ロマン管やロンドン響、ニューヨーク・フィルとも共演。ソリストとして参加したボストン交響楽団室内楽アンサンブルの録音はグラミー賞にノミネートされた。現在ボストン大学、ニューイングランド音楽院などで教鞭をとる。

## 併催企画

ボストン交響楽団  
首席奏者による  
マスタークラス(楽器未定)

11月6日(月) 19:00 開始(予定)  
ブルーローズ(小ホール)

※7月28日(金) 発売予定

無料公開リハーサル

11月7日(火)  
10:30~12:00(予定)  
大ホール

※応募方法等の詳細は8月以降、サントリーホール ホームページ等でご案内します。

ボストン交響楽団  
青少年プログラム

11月8日(水) 時間未定  
大ホール

中高生を対象とした、学校単位でご参加いただくプログラム。  
一般販売はありません。

## 他都市公演

11月3日(金・祝) 名古屋  
日本特殊陶業市民会館 フォレストホール  
(問) 中京テレビ事業 052-588-4477

11月4日(土) 大阪  
フェスティバルホール  
(問) 06-6231-2221

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (8/31まで平日10:00~18:00、9/1から休館日を除く10:00~18:00)

※一部のIP電話・プリペイド式の携帯電話からはご利用になれません

<http://suntory.jp/HALL/>

※サントリーホールは改修工事のため2017年8月31日(木)まで休館いたします。休館中、チケット窓口は休業させていただきます。チケットセンター電話受付は月~金の10~18時で営業いたします。(土日祝は休業、ただし主催公演の発売初日は営業)

お問合せ

サントリーホール・メンバーズクラブWEB(24時間受付) <http://suntoryhall.pia.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 328-227(川崎公演)/326-897(東京公演)] イープラス eplus.jp ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 33979(川崎公演)/34114(東京公演)]

川崎公演のみ: ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 <http://muza.pia.jp/> / 神奈川芸術協会 045-453-5080

先行発売: 1回のお申し込みにつき、1公演・1席種、S~B席は4枚まで、C・D席は2枚まで。

一般発売: 1回のお申し込みにつき、4枚まで。先行発売期間で売り切れとなった席種は一般発売で販売しない場合がございます。

出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。